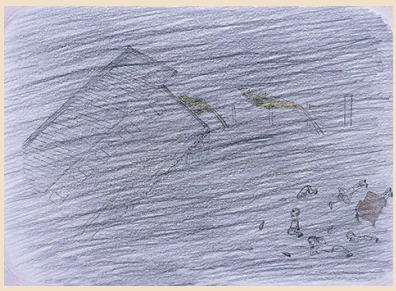
その瞬間－閃光と爆風

❶渡邉昭惠　❷17→74
❸8/6　❹吉島東／西

濡れた革の鞭で思いきり叩かれたような痛みを覚えた。

❶森下弘　❷14→71
❸8/6　❹鶴見橋

建物疎開作業中の私たち70名の生徒は巨大な溶鉱炉にすっぽりと投げ込まれた。



❶平野貞男　❷12→69
❸8/6　❹比治山本町

強烈な爆風によりあたり一面暗くなり、校舎が浮き上がった。

きのこ雲

❶辻岡孝子　❷18→47
❸8/6　❹観音新町四丁目

オレンジ色の雲か煙のようなものがムクムクとわき上がるように広がっていました。対岸の工場の屋根が爆風で吹き飛びました。

❶柳本睦夫　❷18→48
❸8/6　❹金輪島

天空に湧上る猛煙。（この時は原爆やきのこ雲のことを知らなかった。）

❶後藤利文　❷19→76
❸8/6　❹似島

巨大な煙の柱が上空にぐんぐん昇り、入道雲がもくもくと重なりあいつつ大きくなり、その間からオレンジ・赤・青などの稲光りに似た光が四方に散り、異様な形を成して巨大化し、キノコ形のものになっていきました。